

---

# 化け物で規格外で勇者な僕の話

BDM

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

化け物で規格外で勇敢な僕の話

### 【Nコード】

N6615T

### 【作者名】

BDM

### 【あらすじ】

高校に住んでいた闇雲伊吹が菅波咲と共に異世界に召還される話。伊吹のほうはもう何でもありぐらいに強くなるので、というより元々強いのにさらに強くなるので、そういうのが嫌な方は見ないてください。

## 初めに

初めに、この話は「化け物で規格外で勇者な僕」の改訂版です。しかし、話の内容がかなり変わるし、三人称になったりしているのが改定前を見ている方も楽しめるはず、というよりも前と同じところについても全然違う内容になっているかもしれないので見てくださったほうが楽しめる、等。

R15及び残酷描写ありなので嫌な方は見ないように。

それと、評価や感想をいただけると作者は喜びます。

更新はかなり遅くなると予想できますが、楽しんでくだされば幸いです。

## 0 プロローグ(前書き)

初めに、にも書きましたが、改定前を読んでもか  
なり話が変わっているのも読んでくださると嬉しいで  
す。初めてのの方は拙い小説ですが、楽しんでいただければ幸いです。

## 0 プロローグ

少年は目覚まし時計の音で目を覚ます。

本当はこれが無くて時間通り起床できるのだが、眠りが浅くなるため目覚まし時計を使っている。

顔は男とも女とも取れる顔であり、肌は白い。

黒髪黒眼で、「ん」と伸びたときの声は高めだが、男の声だと取れる。

しかし、雰囲気は威圧感というか、何か重みがあるが、温かみもあるという雰囲気、そこだけは男らしい。

起きると手早く運動用の服に着替えを済ませ、朝の運動をする。

起きた時間は5時であり、学校は8時45分までに登校のため、起きるのがかなり早い。

朝の運動と言っても、常人では疲れると言うよりも、学校に行くどころか、何日も休むような量である。

軽いランニング10キロ、それを約20分で済ます。

それだけでもおかしな程の速さである。

ただし、これだけでは終わらない。

刀の素振り、弓術、シャドーボクシング等を『軽く』2時間する。

刀はゲームなどを見ると軽く振っているように見えるが、実際持つとかなり重いものである。

弓も同様にゲームなどでポンポンと撃っているが、やってみると辛いのである。

それらを2時間とランニングをやったら、常人ならば学校に行く気力も無くなるだろう。

しかし、少年は涼しげな顔で息も乱さず、汗すらかいていない。

家に帰り手を洗うと、冷蔵庫に行き卵を取る。  
火をつけてフライパンに慣れた手つきで卵を入れる。  
次に食パンを持って、トースターに投げ入れる。

そのまま電源を入れて、塩胡椒、皿をとり目玉焼きが焼けていることを確認して、フライパンを思いっきり上げて、目玉焼きを浮かせる。

それを持って皿でキャッチする。

そのまま塩胡椒をかけて、テーブルに置く。

そして、フライパンを洗えるようにして、チーンとトースターが鳴り、焼けたばかりのパンを口でくわえながら目玉焼きがあるテーブルの所へ行く。

熱いはずのパンをすぐにくわえているのに、涼しい顔で、いや、熱くない物だと言っような顔である。

そして、目玉焼きをトーストしたパンに乗せて、食べる。  
表情を嬉しそうにしながら、パンを頬張る。

食べ終わると洗面器に行き、歯を磨く。  
うがいを済ませ、歯ブラシを片付ける。

その後、高校に行くために制服に着替えを済ませる。  
男子用の制服は上下黒で、ボタンは金色に光っている。

上の制服にあるポケットには名札ネームが付いていて、その上には銀色の「一外ひつぽう」と書かれたバッジが付いている。

これは生徒会の副会長を示すバッジであり、会長は金色である。  
彼が通う一外ひつぽう高校では生徒会に依存している節がある。

生徒だけではなく先生や高校の周辺の人々まで頼られている。

閑話休題。

準備を終えた彼は、バッグを背負い、登校する。  
時刻は7時45分で、一外高校までの距離は約10分で着く距離である。

いきなりだが、一外高校がある場所について説明する。

一外高校は一外市ひつてにある高校である。

日本の東京都の近くの海に10年ほど前に作られた。

東京都の3分の1の大きさで、人口も同様。

しかし、東京都と違って、いや、世界中の国々にも無いような施設などがある。

明らかにオーバーテクノロジーなもの等があるため、一外市の外に出る場合には写真などは持っていけない。

パソコンから風景などを送ろうとしても、規制されて送ることができない。

それを規制するのでさえオーバーテクノロジーであるし、それを一外市の外にいる人に伝えても、笑われるだけだろう。

そんな場所で彼は生きていた。

いや、彼といつまでも言うのは失礼だろうか？

そんな彼の名前は闇雲伊吹やみくもいぶき。

伊吹はこれから、様々な事件に係わることとなる。

## 0 プロローグ（後書き）

まだ異世界に行きません。

おそろく次話。

できるだけ早く更新できるようにがんばります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6615t/>

---

化け物で規格外で勇者な僕の話

2011年8月24日00時28分発行